



大分初! 初期傑作から《太陽の塔》、幅10mを超える大作《明日の神話》まで!

岡本太郎展

2019年12月26日(木)
— 2020年1月24日(金)

会場 = 大分県立美術館 1階 展示室A 時間 = 10:00-19:00 (金・土曜日は20時まで開館 / 入場は閉館の30分前まで) 休展日 = なし

観覧料 = 一般 800(600)円 / 大学・高校生 500(300)円 / 中学生以下無料

※()内は前売りおよび有料入場20名以上の団体料金 ※大分県芸術文化友の会 びび KOTOBUKI 無料(同伴者1名半額)、TAKASAGO 無料、UME 団体料金
※障がい者手帳等をご提示の方とその付添者(1名)は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください

★岡本太郎展をご覧の方はコレクション展無料!

岡本太郎展の会期中に限り、本展の半券提示でコレクション展を無料でご覧いただけます。

チケット(前売券・当日券)販売場所

大分県立美術館、iichiko 総合文化センター 1F インフォメーション、大分合同新聞社本社受付・同プレスセンター、トキハ会館 3F プレイガイド、豊後プロパン「ビートパワー」、エトウ南海堂、大分市府内五番街商店街振興組合、NPO 法人大分県芸振、大分県職員消費生活協同組合、ローソンチケット(Lコード: 83394)、チケットぴあ(Pコード: 769-571)

主催 = 公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館

共催 = 大分合同新聞社、TOSテレビ大分

企画協力 = 川崎市岡本太郎美術館

後援 = 大分県、大分県教育委員会、NPO 法人大分県芸振、西日本新聞社、J:COM大分ケーブルテレコム株式会社、エフエム大分

写真提供 = 川崎市岡本太郎美術館

写真 / 岡本太郎ポートレート 題字 / 岡本太郎直筆署名

OpAM
Oita Prefectural Art Museum



「芸術は爆発だ！」

のフレーズで知られ、絵画、彫刻、写真など様々なジャンルで活躍した芸術家・岡本太郎(1911～1996)。1970年には大阪万博のシンボル《太陽の塔》で一躍脚光を浴び、2025年の万博開催に向け、今またその芸術に注目が集まっています。

本展では、川崎市岡本太郎美術館の協力の下、大作《明日の神話》を含む代表的な絵画、《太陽の塔》の資料、また岡本太郎が撮影した写真をご紹介します。「自己をみつめる太郎」「日本をみつめる太郎」「世界をみつめる太郎」の三つの章で展示を構成し、制作・文筆・撮影といったマルチな活動から革命的なビジョンを鮮やかに展開していった岡本太郎の姿に迫ります。常に自己に挑み、社会に向けて芸術の在り方を問い続けた岡本太郎から、現代を生きる私たちを鼓舞する「力」を受け取っていただければ幸いです。



森の掟 1950 油彩、キャンバス



平林寺にて 1957年10月1日



縄文土器 1974年7月25日
ゼラチン・シルバー・プリント



イザイホー 久高島
1966年12月26・28日撮影
ゼラチン・シルバー・プリント

自己をみつめる太郎 —— 戦後、対極主義の時代

青春をパリで過ごし、20代前半の若さで第一線の芸術家たちと活動とともにした岡本太郎。日本に帰国した後は、パリで学んだ前衛的な画法を土台に、独自の作風を発展させます。傑作《森の掟》(1950年)や、父・岡本一平を思わせる《作家》(1948年)など、自己との対話を深めた初期の作品をご紹介します。

日本をみつめる太郎 —— 縄文、東北、そして沖縄

東京国立博物館で縄文土器に魅了された岡本太郎は、1952年「縄文土器論 四次元との対話」を発表、そして自ら土器や土偶の写真を撮影します。さらに京都や東北、沖縄を訪れ、文化遺産や原初的な日本人の姿を取材します。近年新たにプリントされた縄文土器の写真を含め、岡本太郎が50年代以降に撮影した写真群をたっぷりご覧いただきます。



明日の神話 1968 油彩、キャンバス

世界をみつめる太郎 —— 《明日の神話》から《太陽の塔》へ

60年代後半からの岡本太郎は、社会問題を反映した作品や、世界規模の事業に関わる作品を生み出します。この時期の二大傑作が《明日の神話》と《太陽の塔》です。《明日の神話》はメキシコのホテルのために制作され、数奇な運命をたどった末、現在渋谷駅に設置されている大壁画です。本展ではこの作品の幅10mを超える原画を展示するとともに、悲劇を乗り越える力と未来への希望を託した中・後期の作品群をご覧いただきます。

関連イベント

映画「太陽の塔」上映会

2019年12月14日(土) ①13:30～ ②16:30～ 各回112分

会場 = iichiko総合文化センター 地下1階 映像小ホール

定員 = 50名 参加費無料

geibun@emo.or.jpへ、件名にイベント名、メール本文にお名前、参加人数、ご連絡先をご記入の上、お申込みください。

岡本太郎展記念講演会

「原色の呪文 — 岡本太郎の芸術」

2019年12月26日(木) 13:30～15:00

講師 = 佐々木秀憲氏(川崎市岡本太郎美術館 学芸担当係長)

会場 = 大分県立美術館 2階研修室

定員 = 80名 参加費無料

お電話(097-533-4500)またはapp@opam.jpへ、件名にイベント名、メール本文にお名前とご連絡先をご記入の上、お申込みください。定員に達し次第、締切とさせていただきます。

ワンコインリレーコンサート vol.3 現代音楽

新垣隆 ピアノコンサート

2020年1月4日(土)

14:00開演(15:00終演予定) / 18:00開演(19:00終演予定)

出演 = 新垣隆氏(作曲家・ピアニスト)

会場 = iichiko総合文化センター iichiko音の泉ホール

入場料 = 500円

チケットのお申込みは担当窓口へお電話(097-533-4004)またはiichiko総合文化センターホームページをご参照ください。



ギャラリートーク

2019年12月28日(土) / 2020年1月11日(土)、18日(土)
各回14:00～

会場 = 大分県立美術館 1階 展示室A

参加費無料(要展覧会観覧券) 申込み不要 当日参加可



OpAM 大分県立美術館
Oita Prefectural Art Museum

〒870-0036 大分市寿町2番1号 Tel. 097-533-4500 Fax. 097-533-4567
JR大分駅府内中央口(北口)から徒歩15分 大分ICから車で10分 <http://www.opam.jp>